



特67

488

098074-000-5

特67-488

日清戦争絵入一口ばなし

和田文宝堂

M28

DBT-0311





海洋島てかんぞ

よせばよくつたと

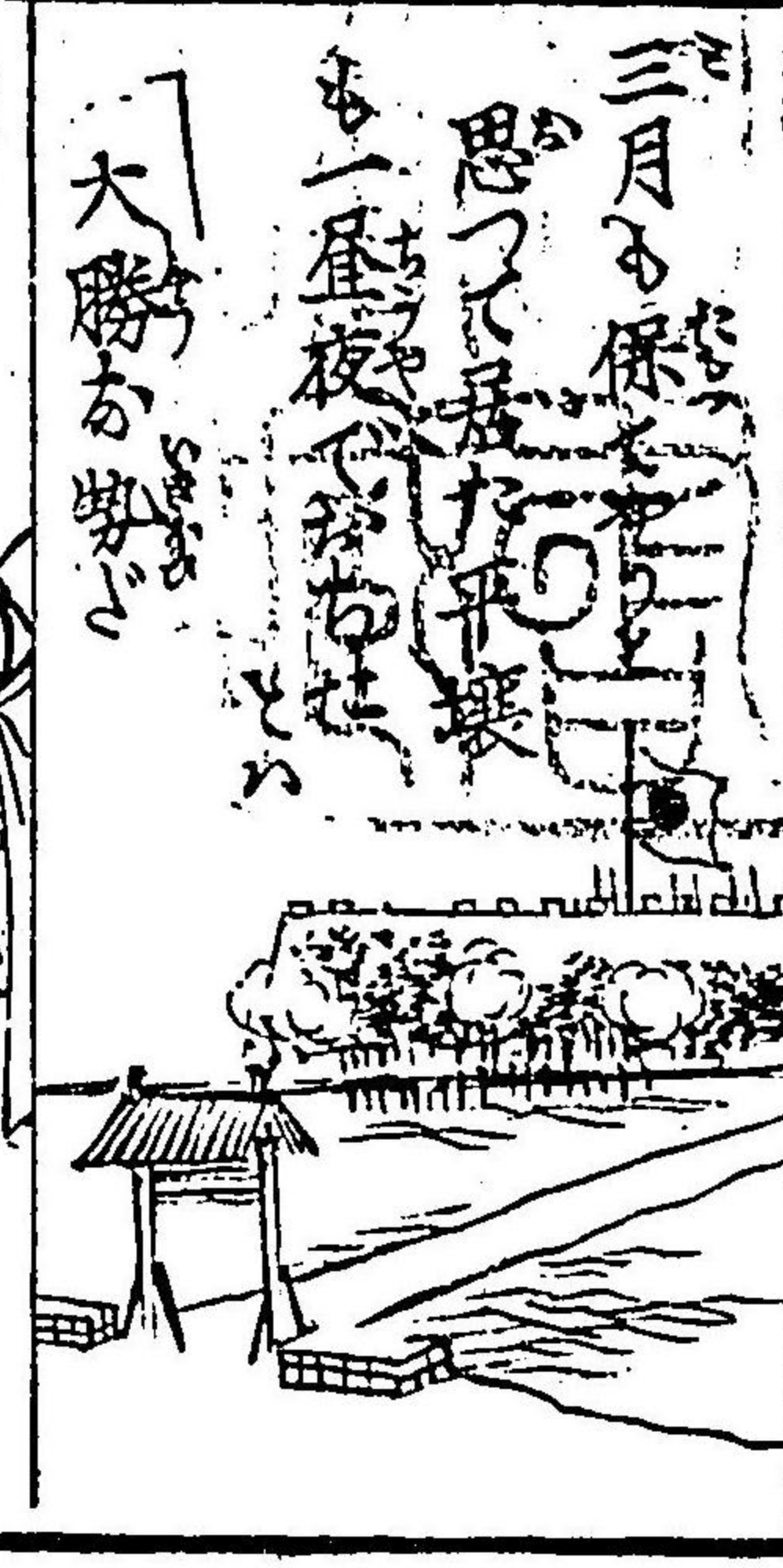
敗北の

ちやん

黄
海

支那の大將のとと
何といふねー

又
走
得
も
な
か
り



三月も保
思つて居
も一昼夜
大勝お勢ど



連戦

連勝する

これが我國
の強い

一將校サ

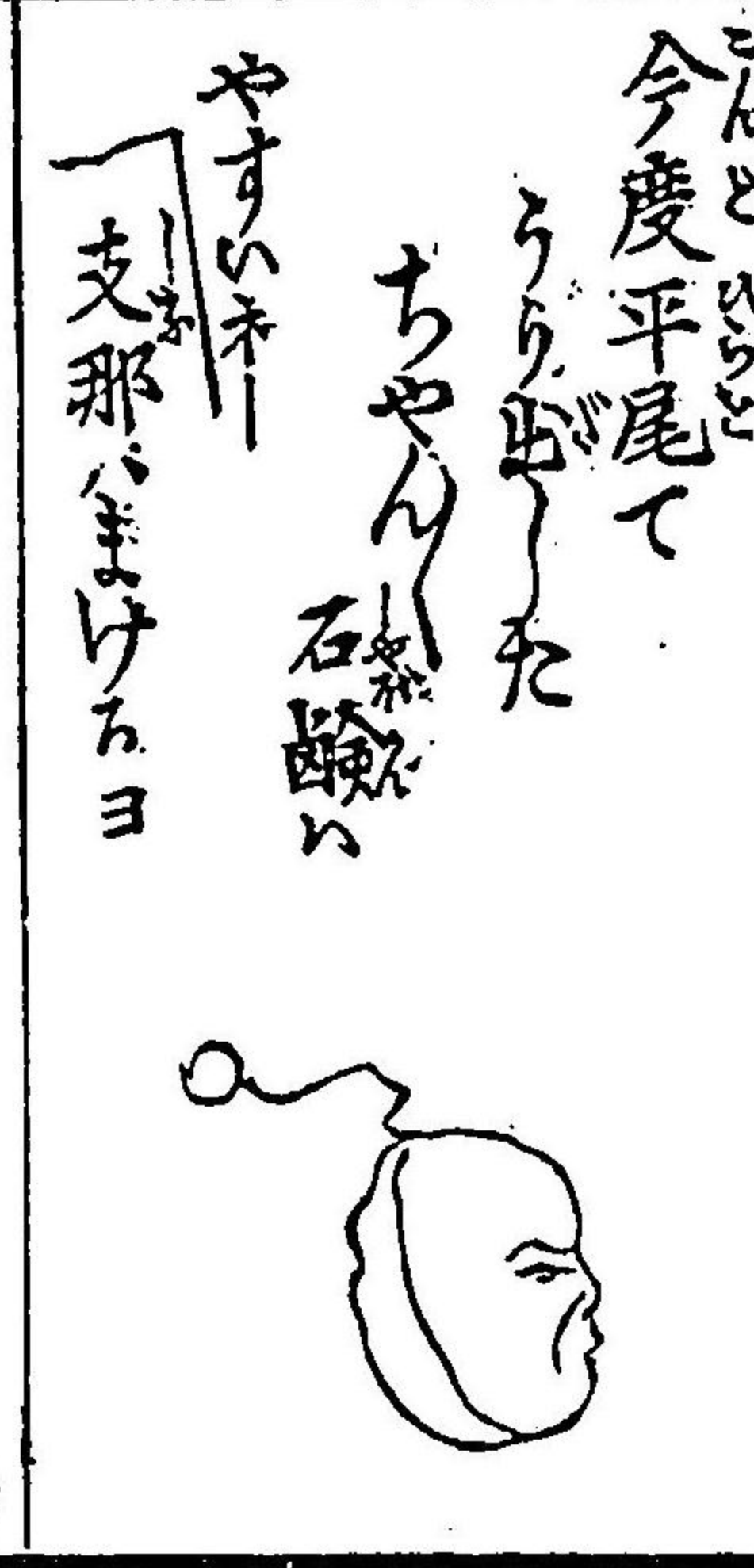
今度ね支那でね日本軍の
進撃と防くつめよ
大沽へ板垣ひと
一坪一エ



川崎さん
此川がこれが
こーまーた
渡
ちやんくーのじとと
西瓜ちんちんと
あまら
とある



今夜深更よ
及んで進撃
思ひますが
イヤ
だんくせり上つた
揚句、北京まで
さくむさ
おまゝ知つてかえ
その位か下
今度平尾て
らり出た

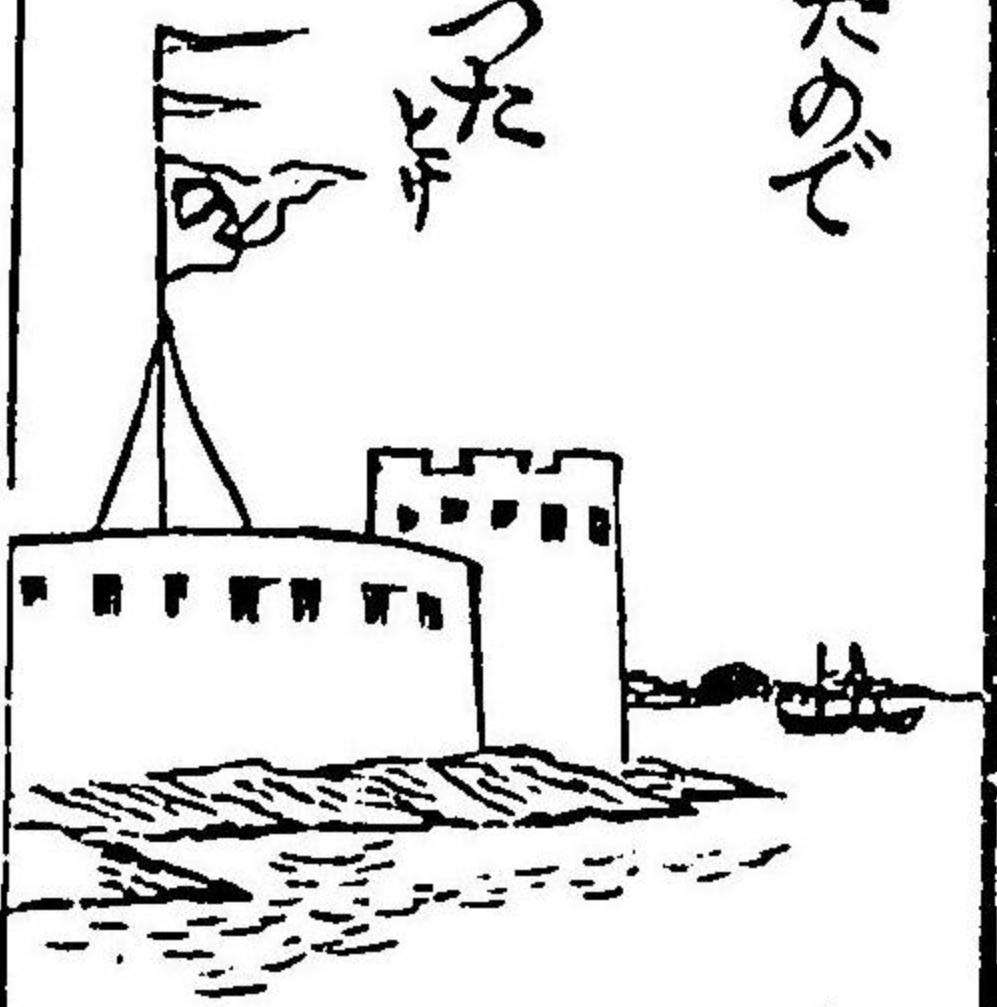


ちやんく
の子どまが
父親と追
ちやんく
やすいネー
支那まけるヨ



海軍ハ
今度の
威海衛
御苦勞

日本は占領されたので
ちやんく兵が
とまりふ困つた
「松」白んか



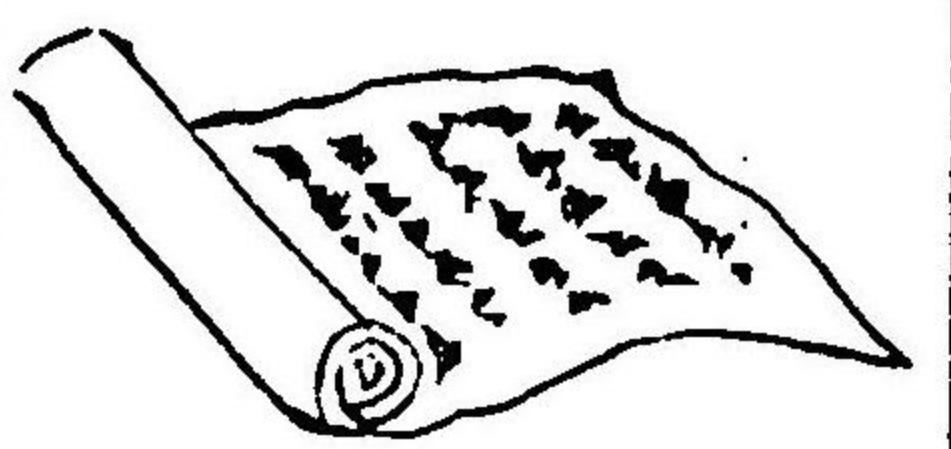
玄武門が
陥たのり
あぜくらうす
「平壤」がわるいす



浅草の本願寺もある
ちやんくのころ
モッ殺してさる
「不」のよ〜泣い
と



構和のぬぐひも
聴てやろうか
「支」那よつたら



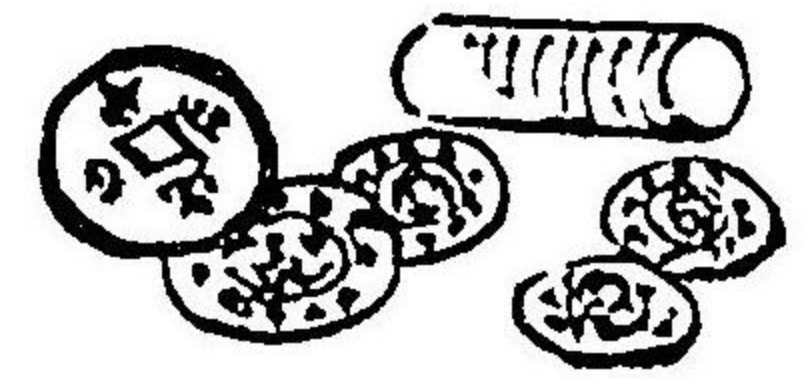
摩天嶺
つら敵の陣やと
眼ひんたの誰が
「立」見サ



定遠と
沈没させ
あらいの
「そ」のや
日本の水雷多(艦隊)



今トや〜朝鮮内地
日本の通貨がスシ
通行せよそ
「銅」貨がゆうそ
と



ちやんくハ日本兵
とつるすとす
へたばつて〜
「ソ」リアー腰はからサ



アラは覽目

のつづしが上ツた

「アラク」



今度の戦争で

支那へ馬丁よ

行たので大層金

もろけぬ

「馬くやつたね



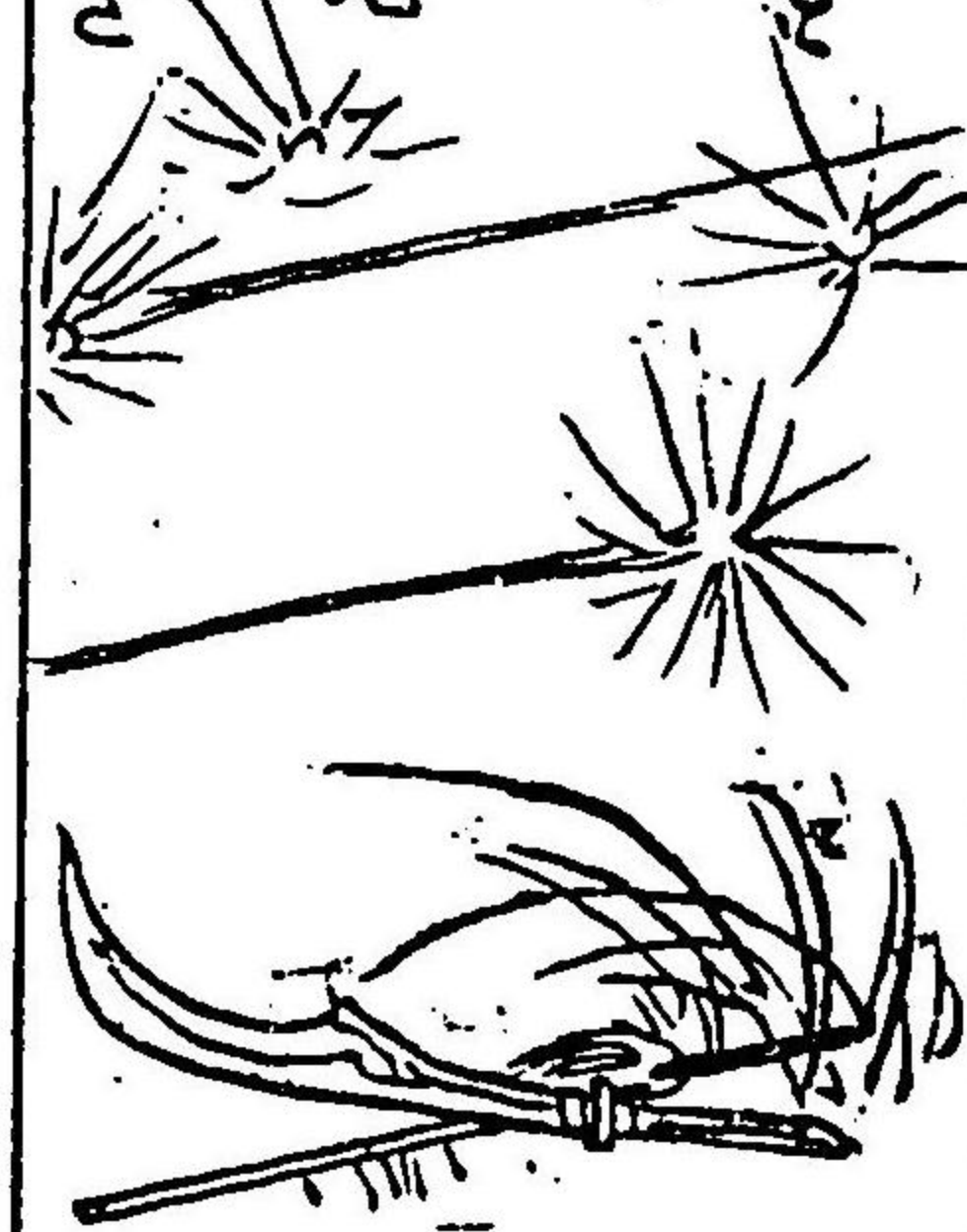
戦場へ行くよ

雨の中らよ

鉄砲の玉が

くま

「イヤとんだ



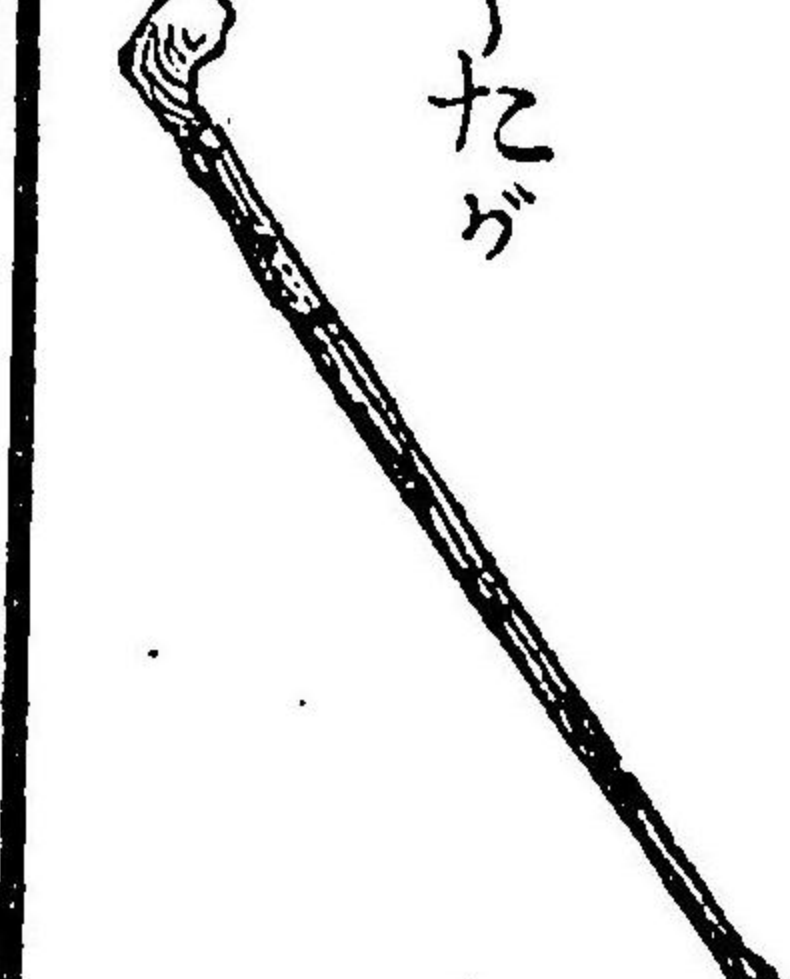
今度軍へ

ゆ〜のて

仕込と造りま〜たが

は境あさつたり

「つ志見ません



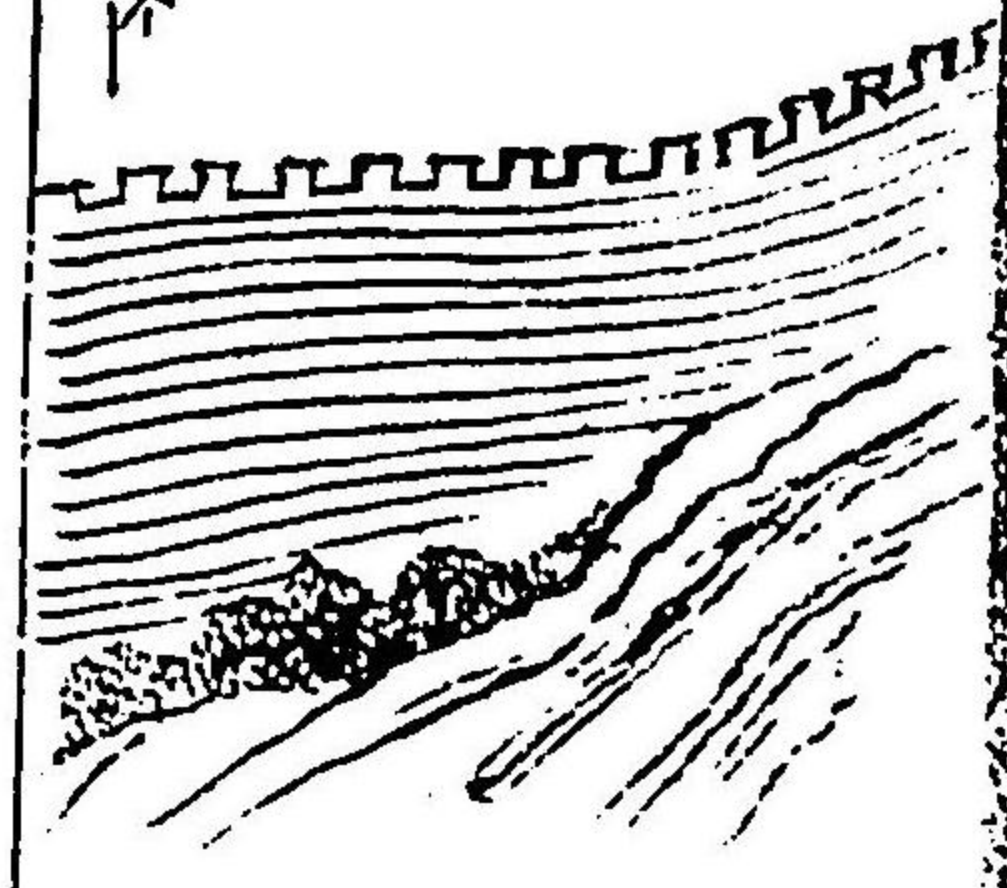
支那で危介もの

萬里の長城

だといふが

ありや

「始皇があつたか



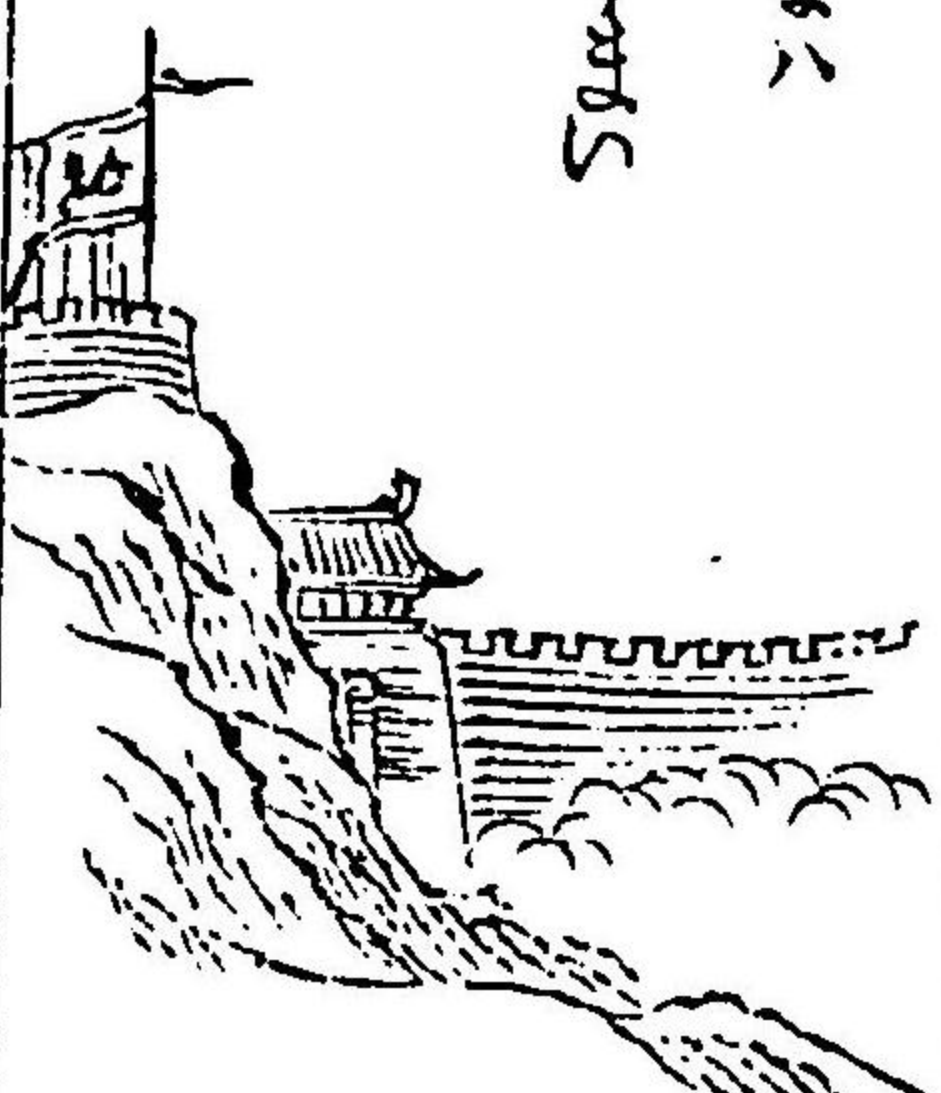
今度の進撃よハ

又々敗北〜

かと

「清兵が

「心配



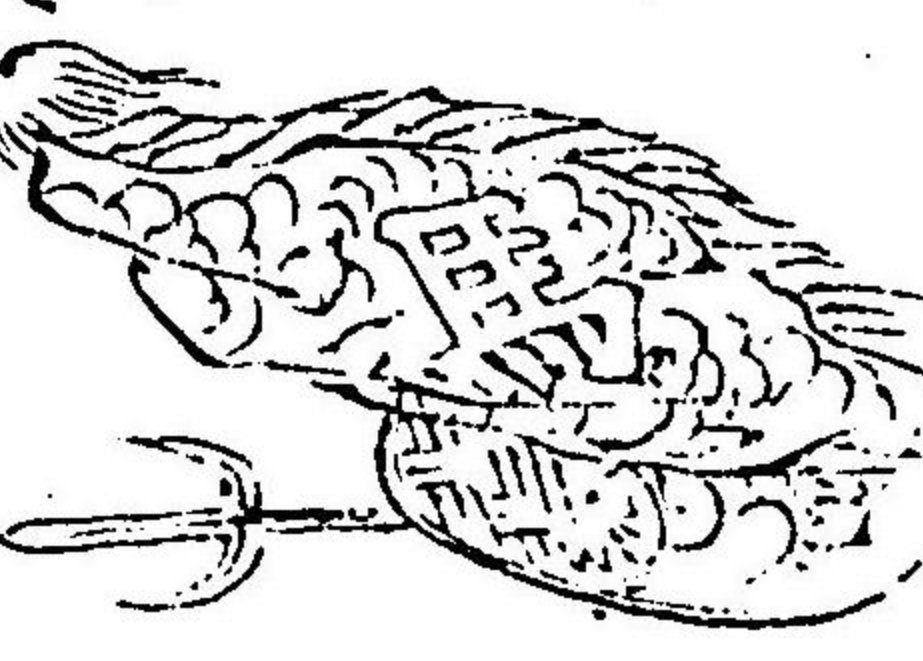
折角支那より朝鮮へ

出張〜たちやん

ろく小軍もせず

軍旗も剣も打捨て

逃帰つ〜これの



平壤の義も思たよ

試がなつたまら

野営演習のやりで

「あつた

「あつた

